



深田貴美子 《いっぽいっぽ通信》



30年後も安心の武蔵野!

「誰ひとり取り残さずに」を武蔵野市から実現する!

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



「誰ひとり取り残さずに」持続可能な開発目標=SDGs(Sustainable Development Goals)通称「グローバル・ゴールズ」は、貧困に終止符を打ち、地球を保護し、すべての人が平和と豊かさを享受できるようにすることを目指す普遍的な行動を呼びかけています。

「出典:持続可能な開発目標/国連開発計画より」

今年、6月の大震北日本地震、7月の西日本豪雨、連日40度に迫る酷暑が続き、9月に北海道胆振東部地震、10月の台風24号の被害と、予想を遥かに超える災害に見舞われ、水道をはじめ様々なインフラの脆弱性が明らかとなりました。

「地球温暖化防止」は、地球規模の喫緊の課題です。AIやIoTなどを駆使し、「ビックデータ」を活用し、「想定外を想定」し、対策・解決することも必要です。

もちろん、私たちの身近な生活課題においても、これから20年、30年後に予想されるリスクや課題を回避し、解決しておくことも必要です。

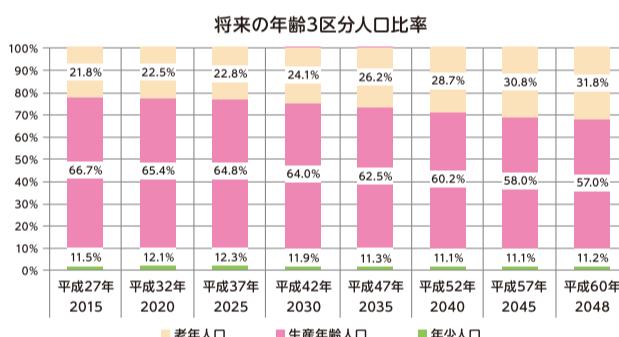
これからも「安心の武蔵野=持続可能な武蔵野」であるために、皆様のご理解とご判断となる情報提供と、提言をお届けします。

武蔵野市議会議員 深田貴美子

1 生産人口(19歳~65歳)減少!!

66%(2018年)→57%(2048年)に縮減

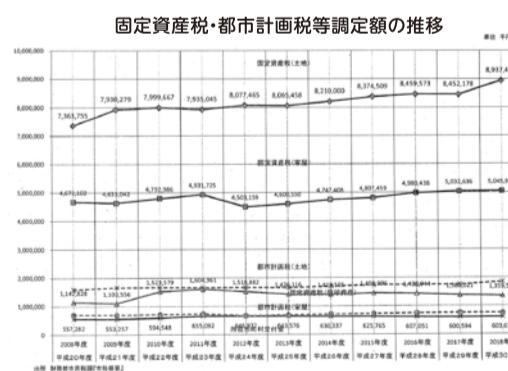
市の「平成30年人口推計」では、30年間で総人口は16万1786人です。約2万人も増加ですが、19歳から65歳までの「生産人口」は、年々減少し、30年后は、総人口の57%と推計されています。定年延長の制度変更は期待されますが、財政基盤の強化を図る必要があります。



地価公示価格

坪単価平均約307.3万円

2018年3月に発表された最新の地価公示価格によれば、武蔵野市は、坪単価平均約307.3万円、全国ランク第16位です。前年比3.81%の上昇率で、全国ランク第21位でした。ここ10年間の土地・家屋の固定資産税の動向を追ってみました。



全国的に注目されているだけの、「都市力」を目指さなければなりません。

—住むほどに、喜びと誇りを実感できるまちへ—

結論

みなさまからお預かりした貴重な税金を、今後も持続可能な武蔵野市を子子孫孫にまで受け伝えるために、市が今しなければならないことは、右のとおり。

①「システム思考」の全体最適化

「量から質へ」の行財政改革と、「部分最適」というパート主義から、「システム思考」の全体最適へと考え方をシフトすること。

②「バックキャスト」ビジョンの明確化

武蔵野市の将来ビジョンについて、何年先に何を実現するかを明確に設定し、そのために、今どんな手段をとるべきかを考えること。「とりあえず、今これをやっておく」というのが、一番だめです。



みなさんのご意見、ご要望をお聞かせください。

メール ippo-ippo@fukakimi.net
または電話 ☎ 090-8025-4457まで

武藏野の医療と福祉・介護・看護を考える!

これで
安心!

お医者様の往診はもちろん!
安心の「地域医療福祉拠点」を実現したい!



がんや難病のご本人と家族の暮らしの保健室「マギーズ東京」

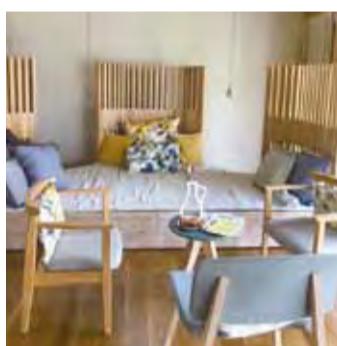
7月23日(月)、江東区豊洲にある「マギーズ東京」(運営:認定NPO法人マギーズ東京)を視察させていただきました。がんになった方、またその家族や友人など、戸惑いや悲しみを話し、自分の力を取り戻すサポート拠点です。英国の「マギーズセンター」の日本版です。専門の看護師・心理士の方々が、親身に、丁寧に、お話を聞いてくださり、必要な情報を伝え、病状だけでなく、心と暮らしの支援をしてくれます。

2016年にクラウドファンディングなどの寄付に助けられて、江東区豊洲の地に、開設されました。年間6000人が訪れてています。

代表の秋山正子さん(株式会社ケアーズ:看護師)のお話を伺いました。「もはや、がんは、告知される病気となったが、やはり、告知された患者は、その重さに打ちのめされる。また、小さな子どもがいる母親の場合、親の介護もある、告知をどう受け止め、子どもにどう話をしたらよいか、暮らしはどうなるのかなど、医師には相談できないことが、たくさんある」——地域包括ケアシステムの隙間に、こうした「暮らしの保健室」が必要とのことではないかとのお話しに、深く心動かされました。

雑誌の記事で知り、設立の趣旨に共感し、かねてより視察にうかがいたかった場所です。ようやく夢が叶いました。

武藏野版「マギーズ東京」をと、心に決めました。



三鷹北口駐輪対策を急げ!

民間マンション開発のため、「三鷹北口自転車駐輪」が閉鎖となりました。その結果、現在400台の通勤通学の方々がお困りです。今後の練馬区界のマンション開発も視野に入れ、検討を急げ!

約50億円の損失

低利用の市有地のうち、平置きの駐輪場である三鷹駅北口「中町駐輪場」(中町1-18)は、平成4年前後に91億円で取得しました。平成22年コンサル評価によれば、「約50億円の評価損が発生」しているようです。市民一人当たり、34,216円の損失です。抜本的な駐輪場対策も含め、「三鷹駅北口地区計画」の策定に着手すべきです。

便秘・排便をしっかり解決! 看護付き小規模多機能介護施設 「坂町ミモザの家」



8月30日(木)に、新宿区四谷坂町にある看護小規模多機能型居宅介護サービス「坂町ミモザの家」(運営:株式会社ケアーズ白十字訪問看護ステーション)を視察させていただきました。

地域包括ケアは、親しんだまち、住み慣れたわが家での「在宅介護・看護」が基本です。

看取りまでの道のりを、ご本人が尊厳を持って暮らすこと—家族が心強く・納得できる介護・看護のサポートを—「坂町ミモザの家」は、家族と一緒に温かく、力強く伴走していました。例えば、胃ろうの方のお食事も、3回に2回は経口でとれるように、トロトロのお食事を念入りに作ります。また、便秘などの排泄の困難も、看護師さんが、丁寧にケアしてくださいます。介護度5の方がほとんどのご利用者ですが、ご本人が、自信をつけて帰宅されます。その姿を見て、ご家族様がどれだけ心強く励まされることでしょう。

「通ってよし」「泊まってよし」「わが家でよし」とパンフレットにある言葉が、じんと心に染み渡りました。

経営採算が取れないため、武藏野市ではなかなか整備が進まない看護小規模多機能型居宅サービス施設です。が、利用側にとって、高齢者入所施設より大変経済的な介護が実現します。

医師の訪問診療もセットアップすれば、さらに安心のケアが実現!

武藏野の地域包括ケア=「地域リハビリテーション」の実現!

武藏野版「坂町ミモザの家」を、必ず実現すると心に誓いました。



夢の実現

ひつじ食堂 みんな de ごはん

始めました!

今期のテーマは、「食育」です。子どもを応援したい事業者さんと、託児活動をしてきた団体の方々との思いから生まれた居場所です。子どもだけでなく、だれでも一人で食べるよりみんなで食べるほうがおいしいよねが、コンセプトです。



場 所:三鷹駅北口キッチン「男の晩ごはん」
(中町新道一つ目の交差点)



日 時:毎月第2土曜日午後3時から6時まで

参加費:小学生100円、中学生200円、同伴者300円



みなさんのご意見を
お聞かせください。

http://www.fukadakimiko.info

facebook www.facebook.com/kimiko.fukada

保護ネコの「きーちゃん」。
今年で3歳になりました!
元気いっぱい育っています!
大切な命を守りたい。

